

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		消費生活展				所管	区民部 くらしの相談課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]							
		[小 柱]							
		[施 策]							
	根拠法令等	その他		[法令等名]	台東区消費生活展実施要綱				
	事業対象	区内消費者団体、グループ、姉妹都市・友好都市、水道、ガスなどの生活関連事業者、その他行政機関等							
	事業目的	区内の消費者団体やグループの日頃の活動や学習の成果を発表する場であると同時に消費者啓発の機会として位置付け積極的に消費生活情報を発信することにより区民の消費生活の安定と向上に役立てる。							
	事業内容	消費者団体等の代表により実行委員会を組織し、概ね6ヶ月間の準備期間を経て、毎年1回(10月中旬の2日間)開催。パネル展示を中心として、消費者が楽しく参加できる実演コーナー等を設置する。							
委託の有無	一部委託		委託内容	会場設営委託					
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	参加団体数 団体		40	40	35	34		
	成果指標	来場者数 人		1,600	1,609	1,519	1,527		
		来場者アンケートで満足と回答した割合 %		95.0	90.8	97.8	96.0		
	決算額 (単位：千円)				2,672	2,625	2,592		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			8,551	5,748	6,476		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			2,616	2,563	2,536		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			56	62	56		
		総経費			11,223	8,373	9,068		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			598	0	113		
一般財源 (区負担額)			10,625	8,373	8,955				
前年度から改善した事項		消費生活展の来場者数や出展ブースが減少している状況から、会場をコンパクトに設営した。また、消費者団体のみのコーナーを設置することにより、来場者にも分かり易い順路となった。							
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	消費者が、食の安全・環境・表示など消費生活に関する情報を求めている社会状況の中で、区民に有益な消費生活情報を具体的に提示できる身近な場として有効である。						
	効率性	3	消費者団体による実行委員会方式で企画・運営し、行政はサポート体制をとり事業を展開している。						
	手段の適切性	3	消費者団体による実行委員会により開催準備を行っている。実行委員会の中で、展示等運営方法について話し合いを持ち実施している。						
	目的達成度	4	本事業については、来場者のアンケートによる満足度は高くなっている。しかし、来場する年齢層が固定化しているため、企画内容や周知方法等について見直しを図っていく必要がある。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
消費者問題を身近なものとして考えるためには必要な事業であるが、一方で実施方法や参加団体を新たに呼びかけるなど時代に即した方法を検討していく時期に来ている。現在活動している消費者団体とともに区民に対してどの様に発信していけばよいかなどを再検討しつつ展示内容等を工夫することで、消費生活の安全や向上につなげていく。						改善			